

くさか景子の **ちよっ** よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2009年6月 Vol 25

What's
New?

「元気です！アルバック」工場見学レポート シェア世界一 茅ヶ崎が誇る環境技術！



茅ヶ崎市萩園のアルバック(株)はどんな企業かご存知ですか？半導体、液晶パネル製造装置の大手企業です。真空技術を使った液晶フラットパネルディスプレイ(FPD)製造装置では世界シェア90%以上を誇ります。つまり、FPDは、パソコン、携帯電話、ゲーム機、大型薄型テレビなどの画面表示技術で、ほとんどの製品は、アルバックのFPDが使われているということです。

地球温暖化防止が叫ばれている昨今、環境技術の筆頭である太陽電池に関して、装置のキーを回すだけで太陽電池を造れる「ターンキー方式」を国内で初めて実現しました。太陽光発電市場においては、結晶系シリコン太陽電池が主流ですが、シリコン電池は、高価であり、現在供給が追いつかない状況です。アルバックが開発したのは、薄膜系シリコン電池で、約0.3ミクロンの厚さで、十分太陽エネルギーを吸収できるため、シリコンの使用量が結晶系に比べ100分の1に抑えられるそうです。新しい太陽光発電の普及が期待されますね。



アルバックの説明に聞き入る参加者

茅ヶ崎市では、アルバックと提携して、この夏、中央公園の市営駐車場の屋根に、太陽光発電装置を設置し、施設の電力を賄うとともに、電気自動車の急速充電器を購入して、その発電を行うそうです。普通は、12時間ぐらいかかる充電が、30分でできる急速充電装置を市民の皆さんに使って欲しいとのこと。

神奈川県の地球温暖化防止施策には、太陽光発電装置の設置や電気自動車の購入推進がうたわれています。しかし、一家4人の世帯で太陽光発電設備を取り付けた場合、標準の3キロワットで約200~300万円の費用がかかり、国県の補助も少なく、茅ヶ崎市の助成も上限12万円なので、一般的にはまだまだどの家庭もすぐ設置とはいきません。また、今は、ハイブリッドカーが主流で、電気自動車は、充電や価格の問題など普及にはまだ時間がかかります。今回、身近な茅ヶ崎市で、環境分野に貢献するすばらしい優良企業を見学して、地球温暖化防止に向け、私たちが意識を高めていこうと再確認しました。

7月4日、5日に開催される環境フェアには、アルバックも出展します。是非、行ってみませんか！

ちがさき環境フェア 2009 開催のご案内

主催：茅ヶ崎市・環境市民会議ちがさきエコワーク

日時：7月4日(土)・5日(日) 10:00~17:00

場所：茅ヶ崎市民文化会館&中央公園

アカデミー賞受賞作品「つみきのいえ」、「ウォーリー」等のエコシアター、フラダンスショー、らんま先生のECO実験パフォーマンスショー、燃料電池実験等のおもしろ環境教室、文教大学コンサート、講演会、市民活動団体・各企業によるワークショップ・展示、中央公園では電気自動車試乗会等、盛りだくさんのイベントがあります。





厚木米軍基地・アルバック工場見学記 5月14日

私は、座間基地にも数度基地内に仕事関係で、米軍発給の ID Card を持って訪れたことがあります。その際には基地内の士官用の食堂で US Dollar で食事をしたり、また売店で 買物をしたことがあり、現在は、どのようになっているか見たかったとの思いです。基地内を見学できなかったのが少々残念です。

米軍基地の説明をして頂いた、金子相模原市議のお話にもあったように、基地周辺の騒音への取り組み方 には感銘を覚えました。小学校の年間日程をあらかじめ米軍側に提示することにより、その日は、艦載機等の離着陸がなかったとのことですが、組織だった市民運動が、短期にせよ飛行を差し止めることができたことは、今後の市民運動のあり方を示唆していると思いました。



厚木米軍基地の外側で説明を聞く参加者



厚木海軍飛行場（神奈川県HPより）

置により製造された Sony の有機 EL による 11" の TV は、その画面の美しさに感動しました。秋葉原で以前見ましたが、まさか茅ヶ崎のメーカーによる製造装置により作成されたものとは、知るよしもありませんでした。

くさか県議には、県会で医療問題もご担当されていると伺いましたが、私の現在の生活状況からも更に介護を含めた福祉にも携わっていただけますよう期待をしております。

(幸町 永井 武彦)



くさか景子のほっとコラム

県議会で新会派結成！

—改革を求めて「大志・未来の会」*意味：未来に向かって大志を抱け—

任期 4 年の折り返し点 5 月臨時議会、武田郁三郎県議亡き後、ひとり会派だった私は、考え方の近い 2 人の議員と 3 人で、会派をくむことにした。川崎市選出の徳安久是さんと鎌倉市選出の松尾崇さん。会派主義の強い県議会では、8 人以上が交渉会派となっており、小數会派の意見は反映されない。先日も、2 倍の日数になる県議会会期の見直しへの意見もただ聞き置くと言われた。悔しい～。ましてや 1 人では、発言機会も少なく、情報も乏しいので、少しでも大きくと思い決心した。私より若い二人は、改革に意欲的で、私も刺激を受ける。これから 3 人で、少しでも、開かれた議会へと風穴をあけていきたい。